

町民の皆様には、新型コロナウイルスへの対応につきましては、何かとご苦勞をおかけし、また、ご協力をいただいておりますこと、ありがとうございます。

さて、新型コロナウイルスへの対応につきましては、「緊急事態宣言」の全面解除を受けて島根県においては新たな方向を示されました。本町おきましても、この「知事からの県民へのお願い」に沿った対応といたします。

①まず、基本的な感染症対策ですが、「密閉空間・密集場所・密接場面の三つの密を避ける」「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの衛生確保」の引き続き徹底をお願いします。

②次に、外出の自粛については、

6月1日からは、中国5県の相互の移動自粛を解除します。

6月15日から各地域の感染状況を踏まえて、北海道・埼玉県・千葉県・東京都及び神奈川県以外の移動について解除する方向です。

6月19日からは、その時の感染状況を踏まえて、すべての都道府県への移動について解除する方向です。

この15,19日の扱いについては、それぞれの期限前に判断をいたします。

③イベントについては、6月18日までは、屋内では100人以下、かつ収容定員の半分以下の参加人数に、屋外では200人以下で、人と人との距離を十分に確保できることを目安にしてください。この目安については、今後の状況を見ながら段階的な緩和を検討いたします。

開催に当たっては、感染予防を徹底し、参加者の名簿を作成するなどして連絡先などの把握をお願いします。

また、本町独自の対応についてでございますが、

①「長生き体操」につきましては、各代表の皆様にお知らせしているところですが、6月1日より自粛を解除いたしますので、感染予防を徹底して再開し、介護予防、健康づくりに頑張ってくださいと思います。なお、CATVの長生き体操の放送は、もうしばらく続けますので、こちらもご利用ください。

②先日、飯南町議会とも協議させていただきましたが、この6月議会において、商工業者の皆さんへの応援制度の第2弾として、国の制度が利用できない事業者の皆さんへ応援金を交付する「事業継続応援金」、和牛子牛の価格が低下していることから、繁殖農家へ応援金を交付する「和牛繁殖農家応援金」制度を設けたいと考えております。

この、和牛の応援については、本町のふるさと納税の返礼品として、「奥出雲和牛肉」を多く使わせていただき、大変人気があります。この人気商品の厳しい状況を克服するために、新たにふるさと納税を募りたいと考えております。制度がスタートいたしましたら、是非町民の皆様もPRをお願いいたします。

③保育所の運営につきましては、ご家庭での保育が可能であれば利用の自粛をお願いしておりました。本県への「緊急事態宣言」解除後は、すでに、保護者の判断により全てのご家庭で保育所を利用いただいていると聞いておりますが、6月に入ったところで、改めて利用のご案内をさせていただくよう考えております。

自粛にご協力をいただいた保護者の皆様に感謝申し上げます。

④「一人10万円の給付」につきましては、現在、9割のご家庭から申請をいただいたところであり、「商工事業者の皆さんや福祉事業所への応援金交付」

「ふるさと応援宅配便助成」についても多くのご利用をいただいておりますが、まだの方も有効にご利用いただきたいと思います。

報道されておりますように、第2波、第3波の襲来が非常に心配されております。また、移動が解除されても、商工事業者の皆さんを始めとして、急に経済が上向くことも期待できかね、もうしばらく厳しい状況は続くと思われまます。「私がまもるみんなをまもる」のチラシでお知らせしております、「飯南町の新しい生活様式」などにより、今後もみんなで感染予防に努めてまいりたいと思います。

また、事業者の皆様には、それぞれ飯南町の生活を支えていただいております。私といたしましても、今後も国や県の動きもにらみながら、職員と一丸となって、また、議会のご意見もいただきながら、応援を続けてまいりますので、共に頑張りたいと思います。

こうしたことで、徐々にではございますが、日常の生活を取り戻し、再び町民同士のつながりを復活していただき「笑顔あふれる飯南町」としてまいりたいと思っております。

町民の皆さまには、引き続きのご協力をお願いいたします。

令和2年5月28日

飯南町長 山崎 英樹